



あたらしい本

第191号 2019. 11. 15 発行

(こども版)



たくさんよんでくださいね!

「リュックをしょって」 ^{むらかみやすなり}村上康成 / ^{さく}作

^{えほんじゅくしゅっぱん}絵本塾出版 (えほん 幼児向き)

モリオと^{とう}お父さんは、^{やま}カッパ山の^{ちようじよう}頂上を^{やまのぼ}めざして山登り。で^{みち}こぼ^{ある}こ道を歩いていくと、いろいろな^い生き物がいたり、^もまつぼっくりや^は葉っぱが^{おち}落ちていたりします…。リュックをしょって^で出かけたくなる^{えほん}絵本。

「なんでもモッテルさん」 ^いアヤ井アキコ / ^え絵 ^{たけしたふみこ}竹下文子 / ^{ぶん}文

^{しよぼう}あかね書房 (えほん 幼児向き)

モッテルさん一家は^{いっか}お金持ち。^{かねも}美術品、^{びじゅつひん}宝石、^{ほうせき}おもちゃなど、なんでも^か買って、なんでも^も持っています。ところがある日、^ひ大嵐が^{おおあらし}やってきて…。「^{かね}お金で^か買えない^{たいせつ}大切なもの」とは？^{ふか}深く^{えほん}あたたかい絵本。

「おなべさんとおたまちゃん」 ^{くにまつ}国松エリカ / ^え絵 ^{みやもと}宮本えつよし / ^{さく}作

^{きよういくかけき}教育画劇 (えほん 小初向き)

ふらふらした^{たす}おすもうさんを助けた、おなべさんとおたまちゃん。^{どろぼう}泥棒に^た食べ^{もの}物を盗まれて、おすもうさんたちは^{なか}お腹を^す空かせていたのです。それを^し知った^{きんじよ}近所の^{しょうてんがい}商店街の^{ひと}人たちは、^たおいし^{もの}そうな^も食べ物を^も持ってきてくれて…。

「きみひろくん」 ^{さく}いとうみく / ^{さく}作 ^{なかだ}中田いくみ / ^え絵

^{しゅっぱん}くもん出版 (くもんの児童文学) (よみもの 小初向き)

スポーツも^{べんきよう}勉強もできて、みんなから^す好かれるきみひろくん。だけどきみひろくんには「^{こま}ぼくにだけうそをつく」という、ちょっと^{こま}困ったところがあって…。^{とも}「友だち」や^{かぞく}「家族」について^{かんが}考える^{もの}きっかけとなる^{ものがたり}物語。

「しあわせなハリネズミ」 ^{ふじのめくみ} 藤野恵美 / ^{さく} 作 ^{おざわ} 小沢さかえ / ^え 絵

^{こうだんしゃ} 講談社 (よみもの **小中向き**)

^{おも} 思ったとおりのことを ^い 言うハリネズミ。 ^{せなか} 背中のハリだけでなく、 ^{ことば} 言葉もちくちくしています。そんなハリネズミが、「 ^た 食べられないし、 ^{やく} 役にも ^た 立たない」どろだんごを ^{つく} 作っているもぐらと ^{であ} 出会い…。『 ^{まいにちしんぶん} 毎日新聞』 ^{けいさい} 掲載に ^{かひつしゅうせい} 加筆修正。

「もしも」のときに ^{やく} 役に ^た 立つ! ^{ぼうさい} 防災クッキング **3**

^{じぶん} 自分を守る! ^た 食べものの ^{そなえ} と ^{じゅんぴ} じゅんぴ

^{いまいずみ} 今泉マユ子 / ^{さく} 著 ^{かん} フレーベル館 (^{さいがい} 災害・ ^{ぼうさい} 防災 **小中向き**)

^{さいがい} 災害が ^お 起こったときに ^{たいせつ} 大切なのは「 ^た これ ^た が ^た 食べたい」という ^{まえむ} 前向きな ^{きも} 気持ちとお腹が ^{なか} 満たされて「 ^{げんき} 元気になる」こと。 ^{しぜんさいがい} 自然災害の ^{しくみ} しくみから、 ^た 食べもの ^{みず} や水の ^{びちく} 備蓄、 ^{さいがいしょく} さまざまな ^{えいせい} 災害食、 ^{かいせつ} 衛生までを ^{ぼうさいきょういく} 解説。 ^{ほん} 防災教育に ^{ほん} ぴったりの本。

「アドリブ ad lib.」 ^{さとう} 佐藤まどか / ^{ちよ} 著

^{しょぼう} あすなろ書房 (よみもの **小上向き**)

フルーツとの ^{でんげきてき} 電撃的な ^{であ} 出会いから ^{ねん} 5年。 ^{てんせい} 天性の ^{さいのう} 才能を ^{みと} 認められ、 ^{なんかん} 難関の ^{こくりつおん} 国立音楽院に ^{にゅうがく} 入学した ^{ユー} ユージだが、 ^{おんがくかい} クラシック音楽界の ^{きび} 厳しさを ^ま 目の ^あ 当たりにし…。 ^{イタリア} イタリア、 ^{ちい} トスカーナの ^{まち} 小さな ^く 町に ^{しょうねん} 暮らす ^{せいしゅんおんがくしょうせつ} 少年の青春音楽小説。

「またね、かならず」 ^{くさの} 草野たき / ^{さく} 作 ^{おとないちあき} おとないちあき / ^え 絵

^{いわさきしょてん} 岩崎書店 (よみもの **小上向き**)

ピアノを ^ひ 弾くことで ^{そんざいかん} クラスに ^{しめ} 存在感を ^ひ 示していた ^{ひな} 陽菜。 ^{じぶん} だけど、自分より ^{じょうず} ずっと ^ひ 上手に ^{てんこうせい} ピアノを ^{むね} 弾く ^{いた} 転校生が ^{いた} きて…。 ^{はつこい} 胸が ^{せつ} きゅっと ^{きも} 痛くなる、 ^{えが} これって ^{えが} なに? ^{えが} 初恋の ^{えが} 切ない ^{えが} 気持ちを ^{えが} 描く。

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用